

# 平成29年度 学校自己評価システムシート ( 県立深谷はばたき特別支援学校 )

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の障害特性や発達段階に応じたキャリア教育を推進する学校</li> <li>・共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進拠点の役割を果たす学校</li> <li>・教職員が専門性とチーム力を発揮して子どもが生き生きと学べる学校</li> </ul>
--------	--

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒一人一人が主体的に学び合える指導・支援の充実</li> <li>2 各学部のつながりのあるキャリア教育及び自立活動の充実</li> <li>3 インクルーシブ教育システム構築に向けた支援体制とセンター的機能の充実</li> </ul>
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				29年度評価( 月 日 現在)			実施日 平成 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度から全校で共通の発達検査や外部専門家を招聘した授業の質的向上に取り組んできた。今後は新たな学習指導要領実施を踏まえ児童生徒の指導・支援の充実が課題である。</li> <li>○教育内容を充実するため、保護者アンケートを実施してきた。より教育活動の評価改善につながるようなアンケート内容の充実が今後の課題である。</li> </ul>	教員の指導力の向上  保護者アンケートの改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>①太田ステージ評価や感覚統合の視点による観察等を活用し、児童生徒の障害特性等に応じた指導・支援の充実を図る。</li> <li>②外部専門家の指導助言や学部間の授業見学会により、児童生徒の主体性や学び合う力を育む授業づくりや支援方法等の改善に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①発達検査を活用した指導支援が進められたか</li> <li>②授業づくりの課題や支援方法を見直し、主体性を引き出す指導、支援ができたか</li> </ul>				
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開校以来、キャリア教育の視点を踏まえた研究実践を積み重ね、学校全体の取り組みとして浸透してきている。昨年度までの成果と課題を踏まえ、小・中・高等部のつながりのあるキャリア教育及び自立活動をさらに充実させていく必要がある。</li> </ul>	キャリア教育の充実  自立活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>①研究テーマに「児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育の充実を目指して」を設定し、実践研究を行い、教育課程の検証・改善を進める。</li> <li>②「自立活動の実践」資料を活用し、知的障害の発達課題を踏まえた自立活動の授業を自立活動部と連携しながら進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①実践研究から、教育課程の改善を図ることができたか。</li> <li>②個々の児童生徒のニーズを捉え、根拠に基づいた指導を進めることができたか。</li> </ul>				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度までの実績を踏まえて地域連携による一貫した教育支援及び多様な学びの場を更に充実させていく必要がある</li> <li>○地域に貢献する学校をさらに推進するために、効果的な情報発信や地域への奉仕活動や事業等への参加を充実させていく必要がある</li> </ul>	センターの機能の一層の充実  情報提供と地域奉仕の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>①支援籍学習において、実施上の効率化をより進めながら拡充を図る。</li> <li>②早期支援、小中高支援、就労支援、相談支援等を適時適切に実施する</li> <li>③市町教委等と連携しながら本校の就学相談体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①効率化策を適切に進めながら効果的に実施できたか。</li> <li>②幼児児童生徒の教育的ニーズや保護者の願いに応えた支援ができたか</li> <li>③本校独自の就学相談が円滑に進められたか</li> </ul>				
			<ul style="list-style-type: none"> <li>①ウェブサイト更新の即時性を高め、内容を充実させるための校内体制を整備する。</li> <li>②地域の各機関への清掃奉仕活動や地域行事等における販売活動等に積極的に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①運営組織が機能し、即時的な情報発信と内容の充実が図れたか。</li> <li>②本校生徒の活躍により地域とのつながりが深まったか。</li> </ul>				